

平成二十二年三月十五日提出
質問 第二六〇号

子ども農山漁村交流プロジェクトに関する質問主意書

提出者 木村 太郎

子ども農山漁村交流プロジェクトに関する質問主意書

自由民主党は、去る二月二十二日青森県にて「ふるさと対話」を開き、広く国民の声を聞いたところ、民主党政権による政策の急進な変更や重要な予算の廃止等により現場では大混乱が起き、様々な問題が生じていることが判明した。

従って、次の事項について質問する。

一 農山漁村における長期宿泊体験活動を推進するため平成二十年度から農林水産省・文部科学省・総務省の三省連携により実施されてきた「子ども農山漁村交流プロジェクト」が平成二十二年度予算において、大幅に縮減されようとしている。同プロジェクトは、過疎化・高齢化が進む農山漁村の活性化や宿泊体験活動を通じての教育的効果が期待されているものである。今回の予算削減は「都市と地方の共生・対流」の機会を奪い、地域活性化・地方再生を著しく後退させることになるかと考えるが、政府の見解はどのようなになっているのか。

二 予算の大幅削減により、同プロジェクトにおける活動内容がこれまでより制限される部分があると考えらるが、具体的に事業内容をどのように変更していくのか。農林水産省・文部科学省・総務省の各省別に具

体的に示されたい。

右質問する。